2013.11.12 打ち合わせ

皆様こんにちは。きたかんリポーター、てしおしじみちゃんプロジェクトのサクライです。この「しじみちゃんPJレポート」も回を重ねて第7弾。

北の観光リーダー養成セミナー修了生である、いつき、タカマサ、ハママサ、サクライという4人のPJメンバーは、天塩町をめぐるいろんなアクターと共に、天塩と川をいかしたまちづくりを検討する円滑な会議を進める手法の提案と、実践を担っています。

今回は、11月30日に天塩町で開催する第3回検討会に向けた、事前打ち合わせを行うため11月12日（火）札幌で、夕方から話し合いを開きました。

この日、私サクライの住む砂川市から、札幌への移動がまず大誤算でした。空知はこの日猛吹雪で、高速道路は朝から通行止め。札幌まで通常1時間ですが、この日は2時間30分もかかりました。時間が読めないこの季節、皆様、余裕を持ってお出かけ下さい。

さて、同日の議題は3点でした。
1．天塩町民にむけた当事業の広報誌「ニュースレター」について
2．第3回の検討会をどのようなやり方で行うか
3．メンバーの増員について

とかく会議の場では、一言目を発言するのが難しいもの。そこでファシリテーション技術の「チェックイン」というテクを使いました。各自が短くお題を設けて話すことにより、緊張がほぐれて発言がしやすくなりました。その後は、3点の議題によって進めました。

1点目。地元の町民に天塩の川まちづくり活動を知ってもらうためのニュースレターについては、まず「一貫したデザインの必要性」が指摘されました。まちづくり活動は長く続く事業のため、発信媒体もデザインや編集に一貫性を持たせ、読み手を意識した発信が必要です。天塩町民が届いたレターをパッと見て「あ～、まちづくりをやっているんだな」と見て取れるモノが大事。そのためにも、デザインは毎回変えない方がいい。という意見でメンバーが合意しました。

2番目の、検討会のやりかたの要望としては、前回の会議に参加した人の感想から、大きく2つの意見が寄せられました。1つ目は、議論のいわば羅針盤となる、地元の人たちが主体となった「コンセプト」決定の必要。そして2つ目は、会議の参加者に「意見を充分に出し切ってもらうこと」の重要性。そこで、これらの意見をふまえた結果、意見を出し切ることに適した「ワールドカフェ」の技法が良いと合意しました。

残る議論、メンバー増員の件については、地元の人が出席者の半数を下回らないように配慮したいとの意見も出て、メンバーも納得。その調整は実務担当者にお任せすることとしました。

議論を終えて時計とみるともう21時。今回は、議題の事前発信でメンバーが共有したものの、議題の優先順や時間配分を決めなかった点が甘かったようです。時間中に決まらず課題を残した案件もあり、反省点として、しじみちゃんプロジェクトでは改善に活かします。

冬に突入しました。次回は11月30日（土）天塩町にて、第3回目の検討会です！